

令和6年度 第4回 聴覚障害者センター指定管理者運営委員会協議の概要

- 1 日 時：令和6年11月16日（土）13：30～
開会：13時00分 閉会：14時25分
- 2 場 所：岡山県聴覚障害者センター研修室
- 3 出席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 東 久示、竹村 真明、音田 守利
岡山県難聴者協会 森 俊己、谷口 進
欠席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 中務 雅裕
岡山県難聴者協会 竹上 敦典
- 4 会議に出席した者
岡山県聴覚障害者センター 所長 西條 保幸
- 5 情報保障：岡山県聴覚障害者センター職員4名、岡山県要約筆記団体連絡会2名
- 6 報告事項
 - (1) 令和6年9月・10月の月例報告
 - (2) 令和6年10月までの各種事業の実施状況と計画
 - (3) 第2・3回遠隔要約筆記研修会の実施報告
 - (4) 文化講演会の実施報告
 - (5) 災害救援専門ボランティア研修会の実施報告
 - (6) 全情提中四国ブロック施設長会議の実施報告
- 7 協議事項
 - (1) 今年度の運営会議の会議日程について
- 8 その他
 - (1) 次回運営委員会の会議日程について
- 9 協議の内容（○は委員の発言、□はセンターの発言）
 - ① 頸肩腕症候群健診について
 - 頸肩腕健診は T 病院の医師が実施するとなっているがその他の医療機関では実施出来ないのか。
 - 県内でも頸肩腕症候群の健診が出来るのは T 病院の M 医師だけだと聞いている。
 - ② 要約筆記者指導者養成研修の受講人数について

- 今年度1名の受講であるが数を増やすことは出来ないのか。
- 予算の都合により毎年1, 2名しか受講させることが出来ないのご理解いただきたい。

③ 関係機関や地域社会との連携について

- 岡山中央小学校や老松小学校には難聴学級があるがこれらの学校とは連携しているのか。
- 岡山中央小学校、老松小学校など難聴の児童がいる学校には、毎年8月開催の、「のびのびこどもひろば」の案内をしている。それ以外は連携した活動はしていない。
- 岡山かなりや学園や岡山大学耳鼻咽喉科で訓練を受けている子供たちにも（のびのびこどもひろばなどへの参加についての）声をかけてはどうか。
- 岡大耳鼻咽喉科で訓練を受けている児童に関してはアプローチの仕方がわからない。岡山かなりや学園の方に聞いてみたいと思う。
- キッズファーストというデイサービス（児童発達支援事業放課後等デイサービスキッズファースト）がある。ここにも案内をしていただきたい。
- キッズファーストには既に案内を出していると思うが・・・。忘れずに案内させていただく。

④ 電話リレーサービスの新サービスである「ヨメテル」（文字表示電話：利用者は自分の声で用件を伝え、相手先の声が文字で返ってくる）について

- モニターに選ばれたが登録方法が難しい。センター職員に教えていただいても良いか。
- 情報機器の担当者に聞いていただきたい。

⑤ スマホ教室に関して

- スマホ教室はなぜ難聴者対象となっているのか。
- 今年度のスマホ教室は難聴者協会主催のなんちょうふれあい会の場をお借りして実施しているので、難聴者対象と記載した。
- 実際は、難聴者協会主催のなんちょうふれあい会の中でスマホ教室を行っており、センターから講師派遣していただいている。ろう者の方に参加していただいてもかまわない。

⑥ ノートテーク制度と要約筆記について

- 岡大や吉備国際大学の聴覚障がい大学生がノートテーク制度を利用しているが、支援内容は要約筆記者と同じである。この制度と要約筆記者派遣制度間のパイプがあれば良いのでは。
- ノートテーク制度に関しては承知していないので調べてみたい。

⑦ センター施設の利用について

- センター研修室・会議室はろう協会員以外の人も使用出来るのか。
- ろう協会員に関わらず利用登録をしている人は利用できる。聴覚障害の方は登録が可能であり、登録手続きも簡単にできる。
※ただし、会議室・研修室利用許可申請書には所属する団体名を記載していただいています。

⑧ 文化講演会に関して

- 文化講演会のテーマは誰がどのような方法で決めているのか。アンケート調査などを行っているのか。
- センター職員が話し合いで決めている。ただし個人の嗜好により決めるのではなく、大勢の方に魅力的なテーマは何か、という観点から決定している。アンケート調査はしていない。
- 支部に周知するのに FAX を使用するが、今回のチラシは背景に色が付いていたので送付したチラシが不鮮明になった。
- ラインで（会員に）通知しようとしたがチラシが PDF 形式だったので送信しても開けなかった。J-PEG 形式にしていただけでないか。
- チラシを白黒にすることや J-PEG 形式でお送りすることは可能であるので次回からはそうさせていただく。
- 要望であるが今回のテーマの鬼ノ城に行ったとき PR 用のビデオを見たが字幕がついていなかった。字幕対応していただきたい。

⑨ アプリの活用に関して

- 例えばスマホのアプリを使用すれば新幹線割引切符の購入が可能になる。しかし、使い方が難しく研修が必要だと感じている。
- 自立支援活動で取り上げてみたいテーマだと思う。

⑩ センター利用に関して

- 岡山センターでは利用者数が増加するように努力しているが、他県センターでは利用者数の状況はどうか。
- データがないのでわからない。
- 映像ライブラリーの貸出本数は昨年度比 55% 増加しているが理由はなにか。
- なぜ増加したのか分析していないが、今年度利用登録者数が昨年度より増加していることが映像ライブラリー増加に影響しているのではないかと思う。
- 利用者数等の増加や減少に関して分析はしないのか。
- 講座受講者数、災ボラ研修や聴覚障害者関係研修（旧地ボラ研修）の参加者数、さらには統一試験合格率の低下など分析すべき対象はたくさんあるが、なかなか

そこまでは出来ていない。しかし、周知活動に関しては対象者への案内状の送付など、出来ることは全て実施している。

⑪ その他

- 今年度の運営会議は3月16日（日）を予定している。
- 次回の運営委員会は1月18日（土）としている。